令和７年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告書

江府町教育委員会

目　次

１．はじめに

２．令和７年度事業状況　　１～３６ページ

３．教育委員会の活動状況　　３７ページ

１．はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定に基づき、令和７年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価結果について報告する。

A 評価：事業目標達成、特に修正点・課題なし

B 評価：概ね目標達成、課題有・改善の余地あり

C 評価：事業未達成、見直し必要

江府町においては、「生涯学習」を基本的な考えにおき、「いつでも、どこでも、誰でも」学べる環境づくりをし、幼児教育・学校教育・社会教育など生涯を通じた学習機会を大切にしている。

江府町のめざす人間像３つは、常に目標とするところである。

１　人権を重んじ人を敬う町民

２　自然や文化を愛する知性豊かな町民

３　家族や家庭を愛する人間味豊かな町民

Ⅰ　幼児教育

保育目標「仲間とともにさまざまな体験をとおして生きる力を育てる」のもと、3 歳未満児は年齢別保育で、3 歳以上児は異年齢保育も取り入れて、社会性の育成を進めている。ＡＬＴと一緒に英語に親しむ活動は、子どもの言語発達と興味を育成している。絵本の更新、専門家による年中・年長への体育指導および臨床美術等の取組により、充実した保育のための実践も行っている。

Ⅱ　学校教育

義務教育学校奥大山江府学園は、校訓「しなやかな心と体」のもと、「ふるさとに夢を描き、まち・ひと・みらいとつながる江府っ子の育成」を教育目標として、①自ら考え行動する力の育成、②かかわりの中でともに伸びようとする集団の育成、③ふるさとキャリア教育の推進、④５・４制施設分離型義務教育学校の強みを生かした教育を重点目標にして取り組んでいる。

特設の教科「ふるさと魅力発信科」では、1 年生から 9 年生の 9 年間で系統的にふるさとについて知り、ふるさとについて発信する活動をしながら、広い視野を持ち地域のために力を発揮する人材の育成を目指している。

Ⅲ　社会教育

幅広い年齢層の「生きがいづくり」「仲間づくり」を推進している。

公民館・明徳学園の講座等により、生涯学習の環境提供を行っている。図書館事業においては、司書配置により町立図書館と学校図書館を運営して住民や児童生徒へのサービス提供を行っている。明徳学園自治会の主体的な活動の推進や、地域の伝統・文化行事等の取り組みも改善の工夫をしながら継続して支援をしている。

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
教育委員会	○江府町の教育行政の向上と充実を図る。 ○江府町の教育の現状を把握し、今後に向けての検討、協議、研究を行う。 ○園児、児童生徒一人ひとりの個性や可能性を大切にし、豊かな心と成長を支える保育、教育のあり方を検討する。	○会議開催回数等 委員会開催回数　１３回 ○計画訪問 ・子どもの国保育園　１回 ・奥大山江府学園 前期課程　１回 後期課程　１回 ○研修、会議回数等 県内研修　２回 先進地視察研修　１回 総合教育会議　１回	○毎月の定例教育委員会を開催し、各種議案について協議した。 ○保育園、義務教育学校を訪問し、保育や教育の実情を参観するとともに、園や学校の管理職等と意見交換を行った。 ○広島県海田町教育委員会、海田町立海田中学校、竹原市立忠海学園（R7.12.17～18）を視察し、図書館教育に関する取組について説明を受けた。それぞれの特色ある取組を知る機会となり、今後の図書館教育の充実に向けて参考にすることができた。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
教育相談室設置	○教育相談員を１名配置し、園児、児童、生徒、教職員、保護者等からの来室相談、電話相談、訪問相談等にあたる。	○来室した保護者と個別相談を実施した。 ○保育園、子ども教室の参観を行った。 また、就学後の学校生活や学習にスムーズに取り組めるよう、来室した園児、保護者に個別支援を実施した。	○保護者の悩みや思いを丁寧に受け止め、気持ちに寄り添いながら、一緒に考え、必要に応じて助言を行うことができた。 ○保育園や子ども教室に出かけ、園児、児童の様子を参観することによって、来室した子どもへの適切な支援につなげることができた。			
				担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">事務局</td><td rowspan="2">〇教育委員会事務局の維持管理等を行う。</td><td rowspan="2">〇各種消耗品の購入、旅費の支給及びコピー機の使用料・賃借料等として予算を執行した。</td><td colspan="4">〇教育課職員の経費削減への意識向上と、執行経費の精査等に努めた。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
学校情報通信技術環境整備事業	○江府町立学校の職員及び児童・生徒を対象に、ICT機器を活用した教育環境を整備する。 ○ICT支援員を中心とした情報支援を行い、より充実したICT機器を活用した授業の支援を行う。 ○教育用電子端末を用いた自宅学習のためのWi-Fi環境整備費を補助する。	【校内ネットワーク環境の整備】 ○クラウド型セキュリティサービスなどを活用し、学校での安全なネットワーク環境を整備した。また、教職員用PC（リース）と学習者用タブレットを更新した。 【学校ICT保守サポート】 ○学校におけるICT機器や支援員のサポートなど授業や校務に必要なICT環境を整備した。 【学習支援ソフトの整備】 ○授業等で使用する学習ソフトウエア「eライブラリー」を整備し活用した。 【Wi-Fi環境整備給付】 ○奥大山江府学園児童生徒家庭および町内在住の高校生家庭を対象に、教育用電子端末を用いた自宅学習のためのWi-Fi環境整備費を支給した。	○学校のICTの運用に係る機器、人材、ソフトウエア等について整備を行うことができた。 ○ICT支援員を活用することにより、教職員研修やICT活用を促進し、ICTを活用した積極的な授業実践につなげることができた。 ○学校内におけるICT機器を使った授業および校務改善への利活用等をさらに進めていく。			
				担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
スクールソーシャルワーカー事業	○支援を必要としている園児、児童、生徒へ適切な支援を行うために、保護者、教職員、関係機関と連携した取組が必要であり、そのためにスクールソーシャルワーカーを配置する。	○１名のスクールソーシャルワーカーを配置した。 ○全児童生徒に対する教育・心理に関する検査（Q-U検査）を実施した。 （年２回）	○関係機関と連携し、園児の様子を参観したり、情報共有をしたりして、今後の適切な支援のあり方を検討することができた。 ○日常的に学校の教職員と児童生徒の様子について情報共有を図り、支援につなげることができた。 ○支援が必要なケースは多様であり、今後も学校と教育委員会事務局、福祉部局等が連絡を密にし、迅速に対応していくことが必要である。 ○客観的なアンケート検査により、学年や学級、児童生徒の指導に活用することができた。			
				担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
通学支援事業	○奥大山江府学園に通学している児童生徒の内、公共交通機関の利用が困難と定めた地域に住む者を対象に、スクールカーを運行し、登校時の通学支援を行う。 ○県立特別支援学校へ通学する児童生徒を公用車で送迎し保護者の負担軽減を図る。 ○県内高校等へ通学している高校生等を対象にして、JR・バスの定期券購入費用を補助する。通学する高校生等の保護者の経済的負担を軽減することで、教育の機会均等を図るとともに、公共交通機関の利用を促進する。	【対象地域】美女石集落 コーポ江府 【利用者数】7名 ※平成25年5月から運行開始 ※令和5年度から、長期休業中も部活に参加する生徒を対象に運行 県立米子養護学校 【利用者】　1名 高校等通学定期券購入補助事業 ＜補助実績生徒数＞30名 ＜補助額＞定期券の半額以上	○近くにバス停がないことから、不便な思いをしていた美女石集落・コーポ江府の児童・生徒に、安全な通学を提供することができた。 ○長期休業中もスクールカーを運行することにより、対象地区生徒の利便性が高まった。 ○参観日などの休日を含む課業日に、送迎サービスを行うことで、保護者の身体的・精神的負担の軽減を図った。（県立特別支援学校） ○電車通学を行っている高校生等を養育している保護者に対し、経済的支援を行い保護者負担の軽減を図った。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
コミュニティスクール推進事業	○学校を核とした地域の活性化を目指し、地域が学校運営に携わる学校運営協議会を設置し、学校と地域の連携強化を進める。	○運営協議会の実施（計４回） ・運営協議会の組織編成 ・部会の活動について ・教職員との熟議 ・学校経営方針の承認と学校評価 ○各部の活動 （学習・行事支援部） ・ブナの森校舎裏山整備 ・ブナの森校舎校庭遊具整備 ・奥大山大根クラブ ・かけ算九九、古文暗唱聞き取り （健全育成部） ・一斉ながら見守り運動 ・こいのぼりボランティア ・十七夜ボランティア ・挨拶運動とマスク＆ティッシュ贈呈 ・ひな祭りコレクションボランティア （地域活性化部） ・星空観察会 ・十七夜ポロシャツデザイン募集 ○ＣＳだよりの発行	○学校と地域が連携して学校運営を進めるコミュニティスクールを継続することができた。 ○学校経営方針の承認や学校評価などを通して、地域や家庭と学校が目指す児童生徒像、学校像を共有することができた。 ○健全育成部では、「子どもたちがもっと自分から挨拶できる子になるように」という思いからメッセージを添えたノベルティを配布し、子どもたちが挨拶を意識するきっかけをつくることができた。 ○星空観察会では、専門家の解説を聞きながら、夜空に広がる星を眺め、普段とは違った時間を楽しむことができた。また、江府町の豊かな自然やその魅力を改めて感じる機会となった。 ○CSだよりを全戸配布し、コミュニティスクールの活動について住民への周知を図った。 ○CSディレクターが活動全般のマネジメントにあたり、スムーズに運営することができた。新たな取組にもチャレンジし、活動を発展させることができた。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">奥大山Welcome奨学金返還支援事業</td><td rowspan="2">〇町内に定住し、就業している人を対象に奨学金の返還を、最大年30万円、最長10年間支援し、若年層の移住・定住を促進する。
【対象となる奨学金】
①日本学生支援機構
②第一種及び第二種奨学金
③鳥取県育英奨学金
④その他の町長が認める奨学金
【支援する条件】
①奨学金の貸与を受けて、その返還義務があること。
②町内に住民登録をして、継続して町内に定住していること。
③就業し、継続して勤務していること（自営業を含む）。
④町税等の支払に対し、滞納がないこと。
⑤町が指定しているボランティア活動に、原則として年１回以上参加すること。</td><td rowspan="2">【支給者数】8名
【支給額】1,851,876円
【周知の方法】
①町報掲載
②町HP掲載</td><td colspan="4">〇要綱をもとに添付書類等について精査し、適切に支給を行った。
〇今後もさらに効果的な周知に努め、支援の拡大を図る。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
学校管理費 （ブナの森校舎）	○江府町立学校において、学校施設の維持管理や管理運営を行い、快適で安全な学習環境を整備することで生徒の充実した教育につなげる。	○学習環境の整備・運営を行い、児童の快適な学校生活の確保に努めた。 ＜児童数＞ 1年 7名、2年 14名 3年 10名、4年 14名 5年 17名、 特別支援学級　3名 計　65名 ○施設修繕 地下タンク、女性更衣室壁穴、FF式石油暖房機、職員室水漏れ修理、渡り廊下地震破損部修繕 ○施設工事 鉄骨避難階段修繕工事 ○備品購入 開放式石油ストーブ、特別支援学級用グループ発表ボード・パーテーション	○学校主事を1名配置し、円滑な学校運営を支援した。 ○必要な施設の修繕を行うことができ、安全で安定した教育環境を整えることができた。 ○さらに必要な経費を精査し、重要で緊急性が高いものに経費を集中させ、無駄な経費の削減に努める。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学校管理費
（日野川校舎）</td><td rowspan="2">〇江府町立学校において、学校施設の維持管理や管理運営を行い、快適で安全な学習環境を整備することで生徒の充実した教育につなげる。</td><td rowspan="2">〇学習環境の整備・運営を行い、生徒の快適な学校生活の確保に努めた。

＜生徒数＞
6年　10名、7年　17名
8年　16名、9年　9名
特別支援学級　　2名
計　54名

〇備品修繕
マリンバ・コンサートトム・シロフォン修理、男子トイレパイプ漏水修繕、美術室エアコン修繕

〇備品購入
レスキューボードベンチ</td><td colspan="4">〇学校主事を1名配置し、円滑な学校運営を支援した。
〇必要な施設の修繕を行うことができ、安全で安定した教育環境を整えることができた。今後は、さらに必要な経費を精査し、無駄な経費の削減に努める。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
教育振興費 （奥大山江府学園）	○江府町立学校１～９年生において、授業に必要な教材備品等の購入および学習環境を整備することで教育の振興を図り、適切な学習環境の整備によって児童の充実した教育につなげる。 ○学習教材備品や図書、消耗品等の整備を図る。 ○各種補助金の交付により保護者負担の軽減を図る。	○学習支援員4名配置 ○外国語活動支援員1名配置 ○遠距離通学補助 対象児童（前期課程）：45名 対象生徒（後期課程）：34名 ○就学援助児童生徒数 対象児童（前期課程）：8名 対象生徒（後期課程）：2名 ○新入学学用品費等給付金支給事業 ・対象児童（前期課程）：7名[10,000円／名] ・対象生徒（後期課程）：10名[制服支給／名] ・転入学児童［制服支給］：7年度転入生7学年(2名夏服)	○学習支援員を配置し、個に応じた支援をすることで、充実した学習指導が行われるようにした。 ○遠距離通学を行っている児童生徒に対し、通学費を支援し、保護者負担の軽減を図った。 ○生活困窮の準要保護家庭への援助を実施し、家計の一助となった。 ○授業運営に必要な予算を適切に執行し、必要な援助を実施できた。 ○今後はさらに必要な経費を精査し、無駄な経費の削減に努める。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
運動部活動推進事業	○生徒一人ひとりに対する指導の質・時間の増加を図る。 ○部活動指導員を配置することで、部活動顧問の負担軽減を図る。	○部活動指導員の研修参加・練習試合・試合参加への旅費の支出を行った。 ○部活動指導員（卓球部）の年間指導時間３４４時間（平日1時間30分、休日3時間程度）。	○部活動指導員を配置している卓球部は、部活動指導員の指導のもと練習に励み、団体戦、個人戦共に県大会出場を果たしている。 ○部活動指導員の指導のみで活動できるため、部活動顧問の負担軽減へと効果があった。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">自然教室推進事業</td><td rowspan="2">○姉妹町である島根県西ノ島町の児童と夏の臨海学校、冬のスキー教室での交流を推進する。</td><td rowspan="2">【交歓臨海学校（西ノ島町）】
５年生対象として交歓臨海学校を実施した。
令和７年７月２８日～３０日
奥大山江府学園児童：17名
西ノ島小児童：21名
引率教職員（江府町）：４名
引率教職員（西ノ島町）：14名

【交歓スキー教室（鏡ヶ成スキー場）】
５年生対象としてスキー教室を実施した。
令和８年１月１４日～１６日
奥大山江府学園児童：１７名
西ノ島小児童：２１名
引率教職員（江府町）：７名
引率教職員（西ノ島町）：６名</td><td colspan="4">○臨海学校およびスキー教室について、予定通りに実施し、交流することができた。
○翌年度においても適切に実施検討を行い、実施の場合は安全な実施を心掛け、活動内容の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
学校給食	○奥大山江府学園ブナの森校舎・日野川校舎の学校給食提供に際して、安心安全な給食を提供する。 ○学校給食に関する食材の購入、江府町立学校給食センターの管理または調理業務委託等を実施する。 ○地元の食材を積極的に取り入れ、地産地消を意識した学校給食を提供することで、給食を通しての食育活動に取り組む。	【給食提供日数】 ブナの森校舎（１年～５年） 　平均：１８８日 日野川校舎（６年～９年） 　平均：１７６日 ○昨年度に引き続き、江府町産特別栽培米による米飯給食の実施や、「みちくさ」、「えんちゃん」等による地元産、県内産食材の積極的な使用など、地産地消への取り組みを行い、食の安全に配慮した給食を提供した。 ○新甘泉やブルーベリー、ジビエ（鹿肉）など、江府町内で栽培や取り扱っている食材を取り入れた。 ○修繕　ファンモーター、衣類殺菌庫ヒーターユニット、食器洗浄機カーテン、配送車燃料タンク ○購入　給食センター内パソコン用外部保存機器、食缶	○衛生管理基準に従い、食中毒などの事故を起こさないための安全管理を徹底した。 ○異物混入や食中毒等を予防し、安全な給食を届けることができた。 ○学校給食を通じて、食べる事の楽しさや、食事の大切さを伝える食育学習に取り組んだ。 ○必要な施設の修繕を行うことができ、安全な調理場環境を整えることができた。 ○今後も、引き続き地産地消意識を高めた給食の提供に努める。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
防災・情報センター管理費	○図書館、公民館活動、公設塾等の広く町民のための生涯学習の場として、またバス待ちの場として利用されている防災・情報センターの維持管理を行う。	○設備・機器の保守点検を行い、必要に応じて修繕を実施した。 ○感染症対策を継続しながら施設利用を進めた。 ・公民館講座等（ピアノ教室、江美城を探る会、太極拳クラブ、囲碁同好会、アイリス合唱団等） ・各種団体利用（老人クラブ連合会、江府町遺族会、社会福祉協議会　等） ・公設塾いもこ塾（奥大山江府学園9年生希望生徒） ・公設塾まなびや縁側江府拠点（奥大山江府学園6年生から9年生、郡内高校生）	○複合施設としての機能が生かされており、昨年と同様の利用件数・利用人数があった。 ○施設老朽化への対応や、図書館機能向上のための対応を計画的に実施しながら、生涯学習センターとしての利便性を高めるとともに、夏季のクーリングシェルター、災害時の緊急避難所としての機能を高めたい。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
地域おこし支援事業費	下記の業務について、地域おこし協力隊を募集・配置し、事業を行う。 〇図書館支援 〇江美城主	地域おこし協力隊（各１名）を配置し、以下の企画等を実施した。 ＜図書館支援＞ 〇地域と図書館をつなぐ活動 「大人のためのカフェラテ講座」「親子アイシングクッキー講座」「夜の上映会」「木村研さんのおもちゃワークショップ」の実施 〇町内団体との連携活動 「図書館友の会」「ボードゲームの会」と連携し、イベント実施 〇子どもと読書をつなぐ活動 乳幼児向けのおもちゃを引き続き絵本コーナーに設置し、親子の居場所作りを行った ＜江美城主＞ 〇歴史民俗資料館の定期開館に向けた活動 館内の整理を行い、週１回（長期連休時は連休期間）の定期開館を行い、館内の展示入れ替えや追加を継続して実施中 〇江美城跡の魅力発信に向けた活動 江府町役場ホームページに江美城跡、民俗資料館のページを作成し、定期的に更新を行った。またInstagramでの発信も並行して実施中	＜図書館支援＞ 大人向けの文化講座は需要があり、継続実施していくことで、新たな利用者につなげたい。また、町内で活動する地域おこし協力隊の紹介展示や、各種団体と連携したイベントを実施することで、地域おこし協力隊及び図書館と地域住民とのつながりが生まれるような機会を設けたい。 乳幼児向けおもちゃの設置は、親子向けの利用促進につながっており、絵本コーナーがより良い居場所となるよう提案していきたい。 ＜江美城主＞ 歴史民俗資料館については、継続した開館を行えておらず、来たいときに開いていない状態だったため、週に１度でも必ず開いている状態を作ることにより、来館の促進に繋がると思われるので、継続して行っていきたい。 また、江美城跡の公式なホームページがなく、ネットを使った町外向けの発信ができていなかったため、まずはページを作ることから実施した。今後も定期的に更新を行っていきたい。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
図書館	○すべての住民を対象とし、地域の情報・生涯学習の拠点であるとともに、住民が安心できる居場所となることを事業の目的とする。 ○ミニマムでありながら、多様な年齢層と利用目的に対応できる図書館を目指す。 ○他部署や地域住民と連携した展示・イベント等を実施することで、住民同士のつながりや図書館とのつながりを生む。	○職員体制について ・町立図書館職員　6名（1名は地域おこし協力隊） ○利用状況及び環境整備について ・40代以上を中心に利用が増え、個人の貸出冊数が役3千冊増加した。 ・児童の居場所として、1階の書架に囲まれた縦長のスペースにカーペットを敷き、「ブラリースペース」と命名。放課後を中心に利用する姿が見られる。 ○各種サービス及びイベントの実施 ・資料に関する問い合わせ等も増えており、資料や情報に関する相談ができる場所であることが少しずつ認知されてきている。 ・住民の物品提供もあおぎ、「昭和100年展」を実施したところ、足をとめる来館者が多く見られた。ほかにも住民の作品を展示するなど、住民参加型の展示やイベントを意識して実施した。 ・図書館まつりでのマルシェの実施や、地域おこし協力隊の活動と連携した大人向けの講座などのイベントを行い、普段来館されない層への働きかけを行った。	○資料の更新が進んだことと、他館からの資料取り寄せ等のサービスが定着してきたこと、カウンター工事などの環境整備の効果が表れてきたことにより、個人貸出が増加したと考える。 ○地域住民や他部署と協力した展示やイベントを実施することで、図書館に対する親近感や興味関心を醸成する機会が増えた。 ○引き続き資料や環境の整備に努めるとともに、町民が主役となる企画・展示等を実施することで、町民とのつながりをより育てることを目指す。また、本の宅配サービス等、誰でもが読む楽しみを継続できるような仕組み作りに取り組む。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
児童福祉施設費 （保育園）	○保育料の無償化を継続し、充実した保育を実施する。	○入所児童数 （私的、広域入所含む） 72名 ＜内訳＞ 0歳児 9名、1歳児 7名 2歳児 13名、3歳児 13名 4歳児 14名、5歳児 16名 ○一時保育 実績 開設日数 251日 利用延べ人数 8人 ○支援センター 実績 開設日数 251日 利用延べ人数 181人 ○会計年度任用職員 フルタイム 11名 パートタイム 1名 ○修繕 防火シャッター、暖房設備、ジャングルジム塗装、滑り台踊り場部分塗装 ○購入 保育玩具 ○令和4年4月運用開始した保育業務支援システム「コドモン」を継続	○必要な施設の修繕を行うことができ、安全な保育環境を整えることができた。 ○講師を招いて園内研修を行ったり、視察研修に行った園の保育室を参考にしたりしながら、保育室環境や玩具の見直しを行い、子どもたちが主体的に遊ぶことができるように環境を整えていった。令和8年度は、乳児保育に焦点を絞った園内研修を行い、未満児保育の見直しを行っていく。 ○外部講師による年中・年長児への運動指導、また年少・年中・年長児が1年間を通して臨床美術等を体験し、充実した保育を実施することができた。 ○保育業務支援システム「コドモン」を利用し、子ども達の園での様子を文章や写真を載せて保護者に伝えている。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
児童館運営事業	○児童館の管理について、健全な遊びの場を提供し、健康増進や情操を豊かに育む。	○児童館管理・運営 ・館長1名、児童厚生員1名の体制で児童館の管理運営を行った。 ・運営委員会を開催し、利用状況等を報告し、活動計画等の承認を受けた。 ・児童館利用状況　９５７人（延べ人数） ○あさがお教室、つくしんぼ教室の実施 ・子どもの料理体験や社会科見学などを行い、児童の仲間づくりを促し、健全育成を図った。 ＜あさがお教室＞ 7/24　ﾊﾞｳﾑｸｰﾍﾝ作り・谷川探検（大山青年の家）14名 8/5　料理教室（人権文化センター）14名 8/19　海洋館見学（島根海洋館アクアス）21名 8/26　ボッチャ体験（人権文化センター）11名 ＜つくしんぼ教室＞ 4/8　三光株式会社江島工場、松江ﾌｫｰｹﾞﾙﾊﾟｰｸ見学　18名	○児童館の利用について、効率的で児童が訪れやすい環境を整備し安心・安全な居場所を提供した。 ○児童の長期休業での教室は、活動的な体験活動を取り入れており、児童からは人気となっている。 ○児童の健全育成のために引き続き魅力的な内容の教室開催をする。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
グローカル人材育成事業	○ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域や家庭に支えられながら成長していくことを大切にする。 ○江府町だけでなく、国内・海外へと広く子どもたちの視野を広げ、グローカルな視点で物事を考え行動できる教育を実現していく。	○アントレプレナーシップスクール（イノチャレ） 特設の教科「ふるさと魅力発信科」において、インタビューワークショップやイノベーションワークショップを行い、町のイノベーション（まちづくりのアイデア）について追究した。学園議会を実施し、考えたアイデアを町長へ提案した。 ○海外派遣事業（台湾）3月23日（月）～27日（4泊5日） 奥大山江府学園7～9年生（4名）及び町内在住高校生（4名）を現地に派遣し研修を行った。 ・学校交流、金山漫遊、B＆Sプログラム、自分たちのやってみたいを実現するために台湾各地を見学 　渡航先を変更（前年度はニュージーランド）するにあたり、渡航先の検討から事前研修を行い、自己追究テーマの計画作成及び結団式などを経て研修に臨んだ。 　また、渡航後には町民向けの研修報告会を実施した。	○次代の担い手となる生徒が、地域素材を生かしたまちづくりのアイデアを創出する活動を通して、自分事として、ふるさとに愛着と誇りを感じることができた。 ○ふるさとに軸足を置きながら、環境の異なる国外での研修を行う事を通して、子どもたちの視野を広げていく機会を創出することができた。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">保健体育総務費</td><td rowspan="2">〇住民がスポーツを通して健康的で豊かな生活を過ごすため、各種スポーツ教室やスポーツ大会等の開催や、町外大会への参加を促進する。</td><td rowspan="2">〇町内大会
・春季グラウンド・ゴルフ大会
・江府町長杯グラウンド・ゴルフ大会
・山陰少年ソフトテニス選手権大会
（小学生の部、中学生女子の部）
・江府町ふれあいソフトボール大会
・夏休み水泳教室
・秋季グラウンド・ゴルフ大会
・日野郡少年野球江府町大会
・放課後体操教室
・江府町卓球大会（職域・グループの部）
・江府町卓球大会（地域の部）
〇町外大会
・日野郡民スポーツ大会
（陸上、卓球、バトミントン、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、バレーボール、ソフトテニス、柔道）
・四県四郡市総合体育大会（広島県庄原市）
・県民スポレク祭（秋季）
（ソフトテニス、陸上、グラウンド・ゴルフ）
〇スポーツ推進
・町スポーツ推進委員協議会・町スポーツ少年団の活動助成</td><td colspan="4">〇スポーツ協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員協議会の活動を支援し、町民のコミュニティづくりや体力づくり、健康増進の機会を提供し、スポーツ振興に努めた。

〇今後の課題
人口減に伴い参加者が減少傾向にある。また、町主催大会は他大会との日程調整が難しいものもあり、実施方法や内容の見直しを図る必要がある。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th>評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr>
<td>運動公園管理費</td>
<td>〇利用者が、安全で快適に施設利用できるよう管理・運営を行う。</td>
<td>
令和７年度　運動公園利用実績
<table>
<tr><th></th><th>利用回数</th><th>利用人数</th></tr>
<tr><td>アリーナ</td><td>1,063</td><td>13,278</td></tr>
<tr><td>（２階）</td><td>(1,066)</td><td>(15,224)</td></tr>
<tr><td>小体育館</td><td>208</td><td>835</td></tr>
<tr><td>（１階）</td><td>(173)</td><td>(1,199)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トレーニング室</td><td>60</td><td>69</td></tr>
<tr><td>(315)</td><td>(417)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グラウンド</td><td>199</td><td>4,602</td></tr>
<tr><td>(226)</td><td>(3,978)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テニスコート</td><td>509</td><td>6,165</td></tr>
<tr><td>(414)</td><td>(5,639)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プール</td><td>109</td><td>651</td></tr>
<tr><td>(145)</td><td>(901)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">計</td><td>2,148</td><td>25,600</td></tr>
<tr><td>(2,339)</td><td>(27,358)</td></tr>
</table>
(　)内は令和６年度実績

・施設管理・運営にあたり会計年度任用職員を３名配置。
</td>
<td>
〇町民の健康維持と体力づくり、また生活を豊かにするためのレクリエーションの場として管理・運営することができた。

〇町外の方も含め安全に利用しやすい社会体育施設として、また奥大山江府学園の授業及び部活動に利用される施設として管理・運営に努めた。

〇今後の課題
築４０年近く経過しており、いたるところで修繕、改修が必要な箇所が出始めている。器具・備品についても、スポーツ団体から買い替え等の要望もあるため、計画的な整備が必要である。
<table>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
社会教育委員・公民館運営審議会委員事業	○地域において、社会教育に優れた知見を有する者の知識や住民の声を行政運営に反映させるとともに、地域社会活動の支援、家庭教育支援のための学習機会の充実等、地域社会の問題解決、活性化に資する取組を行う。	○審議会実施 ○各種研修会に参加 ・七夕学校 ・鳥取県社会教育振興大会 ・町村社会教育研究大会 ○社会教育委員会の開催 ・来年度事業などについて検討 ○社会教育委員による子ども教室の視察	○社会教育事業の成果や予定について、委員会にて審議してもらうことで、より良い事業実施につながった。また、来年度に向けた事業の検討も行うことができた。 ○研修会等への積極的に参加いただき、江府町の社会教育への機運が高まった。 ○社会教育委員による子ども教室の視察を行い、子ども教室の様子を把握することができた。 ○今後の課題 全国的な社会教育委員の研究大会や他自治体の社会教育委員との交流の中で、更なる社会教育の推進を図るようにしていきたい。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
明徳学園	○高齢者が生きがいを感じることができる学習を続けていくための取組を行う。 ○組織的、継続的に高齢者自身が学習に取り組み、高齢者が一層健康で充実した生活を送るための学習機会等の提供を行う。	○高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを目的として開講 ７４名入学、７３名が修了 ○一般教養・専門課程１２教科を５月から開講（うち4専門課程を自治会の提案により新設） ○ボッチャ体験会実施 ○視察研修 鳥取県立美術館、白壁土蔵群内豊田家住宅他（２９名参加） 美保神社、枕木山、海とくらしの史料館（２３名参加） ○文集「明徳」第３５集作成支援 ○専門課程（陶芸）から町文化祭に出展 ○学生親善グラウンド・ゴルフ大会 ２１名参加 ○修了式終了後の懇親会を役場で開催	○高齢者が心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、高齢者の生活課題に関連した学習機会を提供することができた。 ○学生自治会の意見を取り入れ、会員の自主性を引き出すことで、学生数の増加にもつながった。 ○今後の展望 登録学生は一時期より増加しており、自治会活動も活発になっている。そのため、今後も教育委員会事務局の担当者が自治会と協力してより良い学園生活が送れるような体制を作っていく必要がある。 講座の内容等自治会と協議しながら改善を続けていく必要がある。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">公民館講座</td><td rowspan="2">〇住民の学習機会を提供し、個々の教養を高めるとともに、取得した知識や技能を文化の向上や地域の活性化につなげる。</td><td rowspan="2">〇年間講座、自主講座を開講し、町文化祭において学習成果を発表した。

〇「年間講座」年間１０回開催
・講座をとおして学習をする活動。
（和紙折紙・書道・絵手紙・油絵・墨彩画・陶芸・いけばな・フラダンス）

〇「自主講座」
・自主的に学習をする活動
（ストリートダンス・ピアノ教室・奥大山カフェ・まなびや・パッチワーク同好会、手踊りクラブ、江府町囲碁同好会、江美城を探る、智能気功教室、ボードゲームを楽しむ会、歌とピアノを楽しむ会、社交ダンス、太極拳クラブ、ヘルシーエクササイズ、臨床美術、親子で歌おう）

〇その他
・西部町村社会教育協議会公民会部会主催の公民館作品展にて「臨床美術」の作品を展示。
・文化協会等各種団体の作品展示</td><td colspan="4">〇住民が楽しく学び、集うことを目的として実施し、おおむねその目的は達成できている。

〇今後も、住民の要望に沿った学習機会を提供することにより、学習意欲の向上につなげていく。

〇自主講座の新設も行われた。

〇今後の課題
講座によっては、参加人数の減少や参加者の固定化が進んでいるので、魅力発信等の工夫が必要。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
夏の公民館祭り 江府町文化祭	○夏の公民館祭り、江府町文化祭を通して、町内の団体・個人の日頃の活動の成果を発表する場を提供し、創作や活動への意欲向上を促し、町民の生きがいづくりと交流の場づくりを支援する。	○夏の公民館祭り　会場：江府町役場 ◇作品展示　６月１９日～７月17日 ▸９団体（講座受講者及び文化協会、個人等） ◇舞台発表　７月５日 ▸ヴァイオリン、チェロ、太極拳、コンテンポラリーダンス、アコースティックライブ、４代目波留 ライブ、日本舞踊、手踊り ◇販売出店、体験７月５日１３団体（飲食物、ハンドメイドアクセサリー等） ○江府町文化祭　作品展示１１月６日～１６日 ＜愛ベルこうふ会場＞ ◇作品展示 ▸１２団体（講座受講者や各団体、個人等） ▸特別展示「七色ガシ」 ＜本庁舎会場＞ ◇舞台発表　７月５日 ※会場：奥大山江府学園日野川校舎 ▸１３団体（公民館講座受講者、個人・団体） ◇販売出店　１１月８日 5団体（西ノ島、エミーズカフェ他）	○学習の成果を町民に披露する機会はなかなかないため、町民の身近な文化活動の発表の場、活動の様子を知ってもらう機会になっている。 ※今年度も夏の公民館まつり、江府町福祉まつり、奥大山女子まつりの3つのイベントを合同で開催した。 ○今後の課題 作品展、舞台発表等文化祭の運営について、もっと町民が主体的に参加できるように検討することが必要。 町民への夏の公民館まつりや文化祭についての周知や参加呼びかけなど早めに行い、新規の参加者の掘り起こし等も必要である。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
成人式開催事業	○二十歳を迎えた若者が、大人としての意識を高め、社会人としての自覚を深める機会にする。 ○二十歳を迎えた若者の門出を祝い、応援する。	○「二十歳を祝う会」として開催 ・記念撮影、式典、思い出のスライド上映 ・お祝いパーティーを実施 ▸料理は町内業者を活用 ・対象者　：２０名 ・参加者数：１６名 ・開催日：1月１１日（日） ・開催場所：江府町役場本庁舎	○「町を挙げて二十歳の門出を祝う」をテーマとし、式典は、名前を紹介しながらの入場後、成人者による「町民憲章」の唱和、感謝の言葉など厳かに進行した。 ○お祝いパーティー（町内業者利用）を実施した。 ○実行委員による企画もあり、参加者にとって思い出に残る二十歳を祝う会となった。 ○今後の展望 　今後も参加者にとって思い出に残る二十歳を祝う会となるよう実行委員と連携し、事業を進めていく。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">青少年育成事業</td><td rowspan="2">〇青少年を健全に育成する環境を醸成し、江府町の将来を担う青少年の育成を行う。</td><td rowspan="2">〇青少年育成江府町民会議
・地域における青少年育成推進体制の整備及び組織の強化をはかるため、各集落に「青少年育成推進員」を設置。
【４部会に分かれて事業を実施】
＜青少年支援部会＞
・防犯ボランティア活動の推進。
＜家庭づくり支援部会＞
・「家庭の日」の普及（家庭の日・絵画ポスターコンクールの作品募集町内応募者４作品）
・家庭教育の支援
・ふれあいもちつき大会を明道館にて開催（参加者４２名、スタッフ１７名）
＜学校づくり支援部会＞
・小中学校行事やＰＴＡ事業への支援
＜地域づくり支援部会＞
・集落バス停の清掃、防犯資材の購入
〇家庭教育支援チーム（にょきにょきこうふ）運営
保護者が安心して家庭教育を行うための支援及び子どもの育ちに必要な教育環境の充実を図るため、家庭教育支援チームが家庭訪問などの支援を行った。</td><td colspan="4">〇青少年の育成事業は、青少年活動の振興と地域の活性化を推進するものであるが、育成会議の会員には、他団体の模範となる積極的な取り組みを行っていただいている。

〇今後の課題
地域の中での世代間交流、若者を取り巻く環境の実情に即した事業内容を展開し、充実を図っていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
文化財保護事業 民俗資料館事業	○本町の文化財保護について、保護審議委員５名の助言や保護団体等の協力をいただきながら、文化財行政の推進を図る。 ○民俗資料館の効果的な活用を図る。	○文化財保護審議会　５回開催 ○文化財の巡視 ○有形文化財維持管理 ・七色ガシ、江美城、洲河崎カツラ、旧江尾発電所の周辺維持管理 ・県指定の七色ガシについては樹木医の診断を受け、不定根誘導治療を行った。 ・七色ガシのひこばえの育成を行った。 ○無形文化財の継承 ・「こだいぢ踊り」については、 江尾十七夜が開催され、着物もリニューアルしたこだいぢ踊り保存会による、「こだいぢ踊り」が行われた。また、講習会の開催を行った。また。	○民俗資料館開館事業は、文化財保護審議会委員や江美城を探る会の協力により実施できた。 ○文化財保護審議会員で町内文化財の巡視を行い現状の把握ができた。 ○七色ガシの不定根誘導はうまくいかなかったが、ひこばえ維持管理し健やかに成長させることができた。 ○今後の課題 ・江美城未調査地の再調査及び出土瓦の化学分析が必要（肉眼では確認できなくても金箔が付着している瓦がある可能性が高い） ・指定文化財の確認と整理 ・文化財保護審議会の指導のもとでの文化財の維持管理 ・資料館収蔵物の確認と、展示レイアウト、保存方法など専門家の指導をもとにした文化財の公開の方法の確立 ・児童生徒の郷土学習での活用促進をしていくための学校との連携			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>事務事業の概要（内容）</th><th>事務事業の実施状況</th><th colspan="4">評価（事業の評価・今後の方向性）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">社会教育団体支援事業</td><td rowspan="2">〇地域社会における活動を充実させるため、活動の場や機会の提供、青少年団体の支援などを行っている団体に対しての支援を行う。</td><td rowspan="2">〇各社会教育団体の支援
事務局(庶務・会計)や、補助金交付などで支援を行った。

・文化協会
江府町の文化振興のために寄与することを目的とする。

・明徳学園学生自治会
学生の自主活動により、学園生活の向上、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

・青少年育成江府町民会議
次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。</td><td colspan="4">〇地域課題に即した生涯学習事業を展開していくためには、社会教育団体との連携、協力はなくてはならないものである。各団体とも、自らの研修や講演会、イベントなどに会員あげて取り組まれた。

〇今後の課題
会員数の減少している組織がある。団体のあり方の見直しや、募集の方法などを考えていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>担当者評価</td><td>A</td><td>教育委員会評価</td><td>A</td></tr>
</table>

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
ふるさと教育事業	○日野郡3町が連携し、日野郡内の高校生と鳥取県立日野高等学校へ通う生徒を対象に、ふるさとに対する郷土愛を醸成し、将来ふるさとで活躍する人材を育てる事を目的とした事業を行う。 ○公設塾まなびや縁側江府拠点を設置し、高校生及び奥大山江府学園６～９年生を対象として取組を行う。	【日野郡ふるさと教育推進協議会】 ・シンポジウム　計　１回 ・担当者会　計１２回 ・協議会総会開催　計　１回 【公設塾まなびや縁側江府拠点】 ＜実施場所＞　愛ベルこうふ（江府拠点） ＜塾生数＞　４５名（年度末） ・内訳 （６年生）　８名 （７年生）　１２名 （８年生）　１６名 （９年生）　９名	○高校生の塾生がいないため、増加に向けて取り組みが必要である。 ○塾講師の人材不足により、塾運営が不安定なものとなっている。				
			担当者評価	B+	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
放課後子ども教室	○児童が、放課後や長期休業期間中に安全・安心に過ごせる活動拠点を設ける。 ○様々な体験活動の場を提供し、異年齢集団の活動や住民ボランティアによる交流活動を行うことにより、児童の健全育成を図る。	○利用状況 登録数：58人（対象児童の73→75%） 放課後子ども教室利用者数：49人 (対象児童の62→64%) 春休み子ども教室利用者数：54人 （対象児童の52→62%） 夏休み子ども教室利用者数：54人 （対象児童の67→70%） 冬休み子ども教室利用者数：30人 （対象児童の37→39%） ○教室の管理体制 平日：コーディネーター　１名 安全管理員　５名 長期休業：コーディネーター　１名 安全管理員　５名 臨時的雇用（延べ）３名	○利用希望の子どもたちを受け入れ、放課後の子どもたちの活動拠点として安全に実施できた。 ○保護者のニーズに応じ、長期休業中も継続して実施した。 ○「高校生学習支援員」として、町内在住の高校生を雇用し、高校生の社会参加・地域交流による社会性の育成を図った。 （夏休み：７名、冬休み：１名） ○今後の課題 長期休業を中心に、地域住民の方による郷土学習や体験活動等を計画していくなど、遊び・体験等の充実を図っていく必要がある。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
同和教育事業	○人権・同和教育の推進	○人権教育推進員（１名）の配置 人権教育事業の企画・立案・実施を行った。 ○人権・同和関係研修会への参加 ・部落解放・人権西日本夏期講座 沖縄・・・・・・・　１名 ・全国人権・同和教育研究大会 大阪、兵庫　・・・　１名 ・全国人権保育研究集会 熊本　・・・・・・　１名 ・部落解放研究全国集会 宮崎　・・・・・・　１名 ・人権啓発研究集会 日程の都合がつかず不参加	○人権教育全般にわたって事業実施に人権教育推進員が携わり、町民が人権について学ぶ機会を作っていくことができた。 ○全国大会は県内外での貴重な学習機会であり、現地に赴くことで意識が高揚していくため、今後も継続して、広く参加を促していく。一部の全国大会は、町民へ公募し参加いただいた。 ○全国大会は一部日程の都合がつかず参加できないものもあったが、研修会に参加された方に研究集会などで報告いただくなど、研修内容を還元していく場を設けることができた。今後も研修参加を通じて町全体への人権啓発を行っていきたい。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
同和対策事業	（同和対策） 「部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」に基づく施策の推進 （生活相談員） 地域住民の生活状況を的確に把握し、生活改善の相談および指導を行い、地域住民の福祉の向上に努める。 （広域隣保活動） 各種講座を通じて、地区住民と近隣集落住民との交流を促進し、相互理解を深める。	○部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会 ２回開催 ○地域活動助成金 集落内の外灯電気料金の助成（半額） ○生活相談員（１名）の配置 地域住民の生活状況を把握して行政等と連携を図りながら生活改善の相談及び指導を行った。 ○江府町人権文化センターにおいて、各講座を開催して地区住民と近隣集落住民との交流を図るなど、広域隣保館活動を実施した。 ・グランドゴルフ20回 ・料理教室　9回 ・書道教室　3回 ・元気クラブ　12回 ・油絵教室　12回 ・折り紙教室　13回 ・手芸教室　10回 ・お茶会　10回 ・臨床美術　12回 ・健康麻雀　11回 計112 回	○審議会を開催し、「部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」の改正について協議した。 ○地域活動助成金により、部落解放同盟等の活動、集落内の外灯電気料金の助成を行っている。今後も継続して助成する。 ○生活相談員は、地域住民の生活改善について相談を受け指導を行う職務を持っており、引き続き相談技術の向上を図り、近隣の町との研修を重ね、相談業務充実を図る。 ○地区住民の交流の場として広域隣保館活動は必要であり、町内の住民が参加しやすいよう、引き続き事業を実施する。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）
人権文化センター事業	○地域の拠点として相談事業、啓発、広報、地域福祉事業等を行う。 ○人権・同和問題の早期解決に向けて周辺地域との日常的な交流を図る。	○人権文化センター管理・運営 ・人権文化センター所長と指導員により人権文化センターの管理・運営を適切に行った。 ・運営審議会を開催し、利用状況等を報告し、活動計画等の承認を受けた。 ○地区進出学習 ・児童生徒が学習を通して仲間とのつながりを学習し、人権意識を高めた。 ○新任教職員研修 ・新たに学校に着任した教職員を対象に人権研修を行った。 ○江府町人権・同和教育研究集会の開催 ・人権教育の拠点として、人権文化センターを会場に研究集会を開催した。 実践報告（俣野支部） 人権標語表彰 講演　村山綾氏（立命館大准教授）	○人権文化センターの管理について、適切な運営を行った。 ○人権文化センター事業については、住民が講座などを通して交流を深めることができるため、引き続き事業の継続・充実を図っていく。 ○奥大山江府学園と連携し、地区進出学習会を実施し、児童生徒のより深い人権意識を育成した。 また、新任教職員対象に、地区の実態を基に人権研修を行い、学校での人権教育の充実に向けた取組を進めることができた。 ○例年開催している研究集会を人権文化センターを会場に開催した。多くの方に新たに整備したセンターに足を運んでいただく機会になった。
			担当者評価：A　教育委員会評価：A

事務事業名	事務事業の概要（内容）	事務事業の実施状況	評価（事業の評価・今後の方向性）			
人権対策事業	○住民一人ひとりの人権が尊重される心豊かな地域社会を実現するための事業を実施する。	○部落解放月間の啓発活動 ・横断幕、町報、防災行政無線により部落解放月間の啓発を行った。 ・期間中に人権・同和問題研修会（映画上映）を行った。 ○江府町人権・同和教育研究集会 ・実践報告（俣野支部） ・講演「なぜ被害者を責めるのか（村山綾氏〔立命館大准教授〕） ○たんぽぽ学級 ・全３回実施、参加者延べ92名 ○小地域懇談会 ・テーマ「部落差別の現状を知るからインターネットと人権～」 ・34集落実施 ○人権啓発資料「あかるいこころ　第46集」 ・編集委員会にて作成し、全戸配布した。 ○人権標語募集 ・人権標語をつくる取組により、奥大山江府学園児童生徒への人権啓発を行った。 ○人権・行政相談所 ・月１回（全１２回）	○部落差別解消推進法」制定も踏まえ、部落解放月間の啓発活動の一環として同和問題をテーマにした研修会を今後も継続して実施する。 ○江府町人権・同和教育研究集会は、町民の人権・同和問題の学習機会として、内容等を検討し、工夫改善しながら実施していく。 ○たんぽぽ学級は、様々な人権課題をテーマとし、人権意識の高揚を図ること目指して行っている。今後も幅広い人権テーマを題材に実施していく。 ○小地域懇談会は、前年度に引き続き部落差別をテーマに実施した。ネットの中で起きている差別についてビデオ視聴と意見交換を通して、改めて人権について見つめなおす機会になった。 ○「あかるいこころ」は、住民が親しみやすい人権啓発資料として作成し、全戸に配布している。より効果的な活用方法を考えていく必要がある。 ○人権標語は作品づくりを通して、児童生徒の人権意識の高揚することを目的としている。今後も学校と連携しながら実施していく。 ○月例で相談所を開設することで、相談しやすい環境を引き続き整えていく。			
			担当者評価	A	教育委員会評価	A

令和7年度教育委員会

月	日	定例会・臨時会・研修会	議 案 ・ 協 議	
4	10	第4回定例会	議案第11号	江府町学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について
5	8	第5回定例会	議案第12号	江府町立学校管理規則の一部改正について
			議案第13号	令和7年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			議案第14号	江府町社会体育関係大会等参加補助金交付要綱の一部改正について
6	10	第6回定例会		その他連絡事項
7	2	計画訪問	奥大山江府学園ブナの森校舎	
7	8	第7回定例会	議案第15号	図書館協議会委員の選任について
7	10	県市町村教育委員会研究校議会　定期総会・研究大会		
8	8	第8回定例会	議案第16号	令和8年度に使用する前期課程および後期課程教科用図書 （特別支援学級）の採択について
			議案第17号	江府町立学校管理規則の一部改正について
8	8	計画訪問	子供の国保育園	
9	1	委員会（持ち回り）	議案第18号	江府町いじめ問題調査委員会委員の選任について
9	4	第9回定例会		その他連絡事項
9	18	計画訪問	奥大山江府学園日野川校舎	
10	1	第10回定例会	議案第19号	令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価の結果について
11	4	総合教育会議	協議事項	豊かな活動ができる放課後の創出
11	7	第11回定例会	議案第20号	江府町教育委員会教育情報セキュリティ基本方針について
			議案第21号	区域外就学の承認について
12	3	第12回定例会		その他連絡事項
12	17・18	先進地視察	広島県竹原市（市立忠海学園）、海田町（町立海田中学校）	
1	14	第1回定例会	議案第1号	令和7年度江府町教育委員会表彰について
1	31	市町村教育委員会委員等研修会		
2	3	第2回定例会	議案第2号	校内サポート教室実施要項について
			議案第3号	学校管理規則の一部改正について
2	11	教育委員会表彰		
2	13	西部地区町村教育委員会連絡協議会合同研修会		
3	10	第3回定例会	議案第4号	江府町立学校管理規則の一部改正について
			議案第5号	江府町図書館協議会規則の制定について
			議案第6号	令和8年度学校医、学校歯科医並びに学校薬剤師及び保育所嘱託医、 保育所歯科医の委嘱について
			議案第7号	令和8年度・9年度江府町文化財保護審議委員の選任について
			議案第8号	令和7年度末教職員人事異動内申書の承認について
3	24	第1回臨時会	議案第9号	令和8年度　教育委員会事務局職員の辞令発令について
			議案第10号	令和8年度　会計年度任用職員の辞令発令について
			議案第11号	令和8・9年度江府町社会教育委員・公民館運営審議会委員の選任について
			議案第12号	江府町立学校職員の服務に関する規程の一部改正について
			議案第13号	江府町乳児等通園支援事業の認可等に関する規則の制定について
			議案第14号	江府町乳児等通園支援事業実施に関する規則の制定について